

ニューソフィア

New Sophia

86号

[vol.23-2]

福岡歯科大学は「口腔医学」を推進しています

Seasonal Topics

福岡歯科大学 平成27年度入学式

福岡歯科大学 新入生研修会

水田祥代氏、福岡学園新理事長に

故田中健藏先生のご遺徳を偲び合同葬

新評議員紹介／新役職教員等紹介／新任・昇任教員紹介

平成27年度福岡歯科大学客員教員・臨床教員紹介

新顧問・事務局長紹介／福岡医療短期大学歯科衛生学科長選任

福岡歯科大学・福岡医療短期大学保健福祉学科父兄後援会長改選

学友会総務委員長決定／定年を迎えて

People

Campus News

サンシャインセンター安全祈願祭／慶熙大 歯科大学学生訪問団来学

歯科医師国家試験・歯科衛生士国家試験結果

水田祥代理事長、第23回日本歯科医学会学術大会（総会）会頭に就任

「口腔医学シンポジウム」および「連携大学学長・学部長会議」

看護大学設置準備室を設置／「学術研究振興資金」に本学研究課題採択

教育支援・教学IR室主催「FD講演会」／医科歯科総合病院3階に第2総合診療室設置

福岡歯科大学／福岡医療短期大学
平成26年度卒業式・修了式

Events

■ 共用試験(CBT・OSCE)

■ ヤングン歯科大学元学長Paing Soe教授講演会

■ 歯科医師臨床研修がスタート

■ 福岡医療短期大学歯科衛生学科登院式

◆ From Alumni

同窓会だより

◆ Hill From Clinic

広栄歯科医院（沖縄県浦添市）／はやま歯科医院（福岡県飯塚市）

◆ Students & Parents

学生＆保護者様からのメッセージ

◆ Information

平成28年度入試日程／オープンキャンパス

16

15

14

13

12

10

9

8

7

6

5

4

3

2

入学式

福岡歯科大学、福岡医療短期大学、平成27年度入学式

【福岡歯科大学】

新たな希望を胸に、 福岡歯科大学へ

福 岡歯科大学口腔歯学部・大学院の平成27年度入学式は4月3日、来賓ならびにご家族の列席のもと福岡歯科大学本館講堂で挙行されました。

緊張の面持ちの96名の口腔歯学部新入生に石川博之大学長は、「現在、社会が必要とする歯科医療の姿は変化しつつあります。皆さんが卒業される、その後研鑽を積まれて第一線で活躍するころには、歯科医療は現在よりもさらに活躍の場幅広い職業となっているでしょう。私たちは、『歯学から口腔医学へ』をモットーに、これからの時代が必要とする歯科医師となるよう皆さんを導いていきたいと思っています。皆さんも日本の歯科医療の将来を担うつもりで、この6年間勉学に励んでいただきたいと思いますが、皆さんが、卒業後に会おう患者さんの多くは、まだ出会ったことのない方々です。出会ったことのない方々のために勉強し努力することは、とても崇高なことですが、一方では、その思いをいつも持ち続けることは容易なことではありません。だからこそ、皆さんには、歯科医師となつて多くの方々の役に立ちたい、医療人として社会に貢献したいという志を、これからの6年間、大きく、高く持ち続けていただきたいと思ひます。」と述べました。



式辞を述べる石川博之大学長

えて、歯科医学に新風を吹き込むようならばらしい成果を挙げていただきたいと思ひます。本学の大学院では、研究者の育成とともにリサーチマインドを身につけた高度な医療人の育成もめざしています。研究を通して、問題を発見し、問題の解決に向けてデータを収集し、それらを分析し、その問題の解決方法を探るといった一連の科学的な考え方を身に付けることは、研究だけではなく、最善の医療の実践にもとても役立つと思ひます。将来、歯科医学界の第一線で活躍する研究者を目指して、あるいは、高度な医療を展開するリサーチマインドをもった優秀な臨床医を目指すて、充実した大学院生活を送っていただきたいと思ひます。皆さんの今後のすばらしい研究成果を期待するとともに、皆さん自身の成長も楽しみにしています。」と式辞を述べました。

また、水田祥代理事長は新入生に対し、「豊かな人間性と幅広い教養を備え、科学の基盤に立つて、個々の患者の立場を中心とした最新最適切な医療を実践できる心と力を培われることを期待しております。」と述べ、学園の一員となった新入生たちへ激励の言葉を贈りました。



口腔歯学部代表
新入生 菜月さん
戸田 菜月さん
による宣誓

【福岡医療短期大学】

夢の実現に向けてスタート！ 福岡医療短期大学

福 岡医療短期大学の平成27年度入学式は、4月7日、福岡歯科大学本館講堂で執り行われました。式辞の中で栢豪洋短大

長は「歯科衛生学科に入学された皆さんはキャンパス内の医科歯科総合病院で、ベテランの先生や歯科大学学生と一緒に臨床実習を行います。また、保健福祉学科と歯科衛生学科に入学された全学生がキャンパス内にある2つの保健施設で介護や口腔介護の実習を行います。キャンパス内に総合病院と2つの保健施設を持った短大は他にありません。施設のみならず、教育実習内容につきましても、文部科学省から高い評価を頂いております。歯科衛生士の仕事は歯科の治療の補助のもとより、予防するための指導や口腔ケアまで業務範囲が広がっています。臨床実習まで十分に力をつけてください。保健福祉学科に入学された皆さんはこれから2年間、介護技術の基本と介護福祉士の業務範囲が広がってできるようになりました。医療的ケアをしっかりと学んでください。20世紀はハイテクノロジーを用いて、命を長くする『命の長さの科学』でしたが、21世紀は『命の質』

に重点が移っています。お年寄りの命の質を高めるのは、ハイテクノロジーや医者の注射ではありません。介護福祉士の温かい心の注射が必要です。介護福祉士を目指す皆さんの活躍の場はますます広がっていくことでしょう。また専攻科に入学された皆さんは、これから口腔ケアの高度な知識や技術を身に付けて、皆さんの知っている知識を自分たちだけのものにするのではなく、患者さんや後輩と分かちあつて向上心と好奇心を持って立ち向かつて、日本の歯科衛生士のレベルを引き上げてください。」と述べ、希望に胸を膨らませた131名、歯科衛生学科84名、保健福祉学科27名、専攻科20名の新入生にエールを送りました。



式辞を述べる栢豪洋短大
大学長

に重点が移っています。お年寄りの命の質を高めるのは、ハイテクノロジーや医者の注射ではありません。介護福祉士の温かい心の注射が必要です。介護福祉士を目指す皆さんの活躍の場はますます広がっていくことでしょう。また専攻科に入学された皆さんは、これから口腔ケアの高度な知識や技術を身に付けて、皆さんの知っている知識を自分たちだけのものにするのではなく、患者さんや後輩と分かちあつて向上心と好奇心を持って立ち向かつて、日本の歯科衛生士のレベルを引き上げてください。」と述べ、希望に胸を膨らませた131名、歯科衛生学科84名、保健福祉学科27名、専攻科20名の新入生にエールを送りました。



歯科衛生学科
山口 美夏さん
による宣誓

保健福祉学科
古賀 梁紀乃さん
による宣誓

新入生
研究会

福岡歯科大学、福岡医療短期大学 新入生研修会

福岡歯科大学

新入生研修会

4月10日、11日の2日間、平成27年度新入生研修会が国立阿蘇青少年交流の家で実施されました。

新入生にとってこの研修は、多くの友達とのつながりができ、新しい環境に慣れるよい機会となっています。研修中、新入生はメタルヘルス、キャンパス倫理に関する講義を聴講し、レクリエーションや熊本市大慈禅寺での座禅体験を通して、新入生同士・助言教員と親睦を深めました。



福岡医療短期大学

新入生研修会

4月10日、11日の2日間、平成27年度新入生研修会が国立阿蘇青少年交流の家で行われました。

歯科衛生学科と保健福祉学科はそれぞれに、草千里や桜の馬場「城彩苑」散策をし、入学当初は緊張していた新入生は、上級生・教員と親睦を深めました。

城彩苑散策



保健福祉学科



歯科衛生学科



水田祥代氏、福岡学園新理事長に

故田中健藏前理事長の逝去に伴い、3月3日に開催された理事会において、水田祥代氏が、学校法人福岡学園(福岡歯科大学・福岡医療短期大学・医科歯科総合病院・口腔医療センター・介護老人保健施設サンシャインシティ)の理事長に選任されました。なお、任期は平成27年3月3日より平成29年8月2日までとなります。

田中健藏前理事長のご逝去は、未だに大きな哀しみと痛恨の極みとして私達の心にあふれておりますが、22年余の先生の御功績、学生や教職員の皆様への深い愛情に対し、敬意と感謝の想いを心に刻んで、私達一同、心を一つにしてこの時を乗り越えていかねばならないと思っております。

3月3日の理事会において私が後任の理事長に選出されました。私には田中先生のようなカリスマ性も強いリーダーシップもございませんが、22年余に渡る長い間、お亡くなりになる間際まで、命を賭けてご尽力くださった田中先生の意志を引き継ぎ、学生達が意欲的に勉学に励むことができる環境を整え、教職員や同窓生が誇れる大学であり、地域社会への活性化に貢献するともに、教育・研究・医療・福祉の拠点として社会をリードできる学園となるように全身全霊を注ぐ所存でございます。

基本的には田中先生が今年初めに決められた平成27年度重点項目を継承しますが、少し具体的にポイントを述べたいと思います。

1. ニーズ多様化で変貌する医療人教育について

大学の使命の一つに人材の育成がありますが、医療が高度化し専門特化する一方、情報社会の進展を背景に国民の医療に対するニーズも多様化しています。すなわち、今は医療の質と透明性が問われている時代です。このような時代においてどのような医療人を育てるべきでしょうか？

(1) 医師の教育

医師については、professional doctor、を育てたいと思います。professional doctorとは(1)good clinicianであること(2)good researcherであること(3)good teacherであることの3つの要素を持つ医師です。

good clinicianとは病気には闘志を、患者さんには愛情を持てる医師であるべく努力する人です。単に知識の集積だけではない、その集積された知識を的確に応用することができる医師であり、患者さんに対しては empathy、の立場で接することのできる医師であると思います。

最近の医療技術の進歩は最新の医療を求めて科学的根拠に基づいた医療、evidence based medicine(EBM)をキーワードとさせ、私達はとすれば知性と感性、そして心を持つ人間を対象にしているといつことを忘れがちです。そこで、患者さんの個々の人生に基づいた医療、narrative based medicine(NBM)の大切さも学び、NBMもEBM同様に色々な部門の方々とのチーム医療が必要であることをすべての医療人に理解して欲しいと思います。

good researcherとは、医学の進歩における基礎的研究と共に臨床研究の意義を理解し、常に医師として探求心を持ち続ける physician scientists である人だと思えます。

good teacherとは、大学病院の医師のみならず、すべての医師が clinician-educator であるべきではないかと思えます。医療人としての修練には経験が必要であり、経験のある年長者が若い人に経験をふまえて教えていくこ

とは医療人すべてが心すべきことであり、さらに人に教えることによって自分も学ぶことができます。また、患者さんへ病状や治療方針をきちんと説明できることもこの範疇に入ります。

これをふまえ、社会が求める医療や医師像をきちんと捉え、単に医学や歯学の知識のみならず、日常生活の中でのいかなる場合においても gentleman であり、jobless oblige を自覚できるような教育を行うことが必要であると思えます。

(2) コメディカルの教育

近年、医療の高度化、医療機器の複雑化等により、医療環境は大きく、急速に変化しています。医師のみならず医療の多くの領域での専門性が認識されることも、その多くの専門性を持つ領域によるチーム医療が重要視されています。

従って、進歩する医学、医療に対する日々の教育は医師のみならず、歯科衛生士、看護師、薬剤師、診療放射線技師、管理栄養士、臨床工学技士などの医療関係者全体についても重要であると思えます。また、リハビリテーション医学の進歩発展とともに、理学療法士の需要は益々多くなってきました。高度な医療機器の普及により臨床工学士の活躍する場も広がっています。

世界的に評価されるような医療人教育を大学から発信し、次の世代を担う意欲ある優れた新時代の医療人を育てたいと思えます。

2. 研究について

高度先端医療を推進していくための未来型医療の研究開発を大いに奨励し、かつ新治療を臨床に応用するシステムの構築が大切です。

構築が大切です。

本学にはすでに先端科学研究センター、再生医学研究センター、老化制御研究センターなどの研究に特化したセンターがあります。また、基礎系の教室を初め臨床の教室も大学院での研究体制を整っております。これらを大いに活用していただきたいと思えます。研究に関する費用としての外部資金獲得も大学全体で取り組む必要があります。

一方、臨床領域における臨床研究も推進したいと思えます。臨床は一例一例の症例の積み重ねによって見えてくるものがたくさんあります。臨床の方々には症例の積み重ねを大切に新しい研究への道をブレイクスルーしてほしいと思えます。

3. 診療及び病院運営について

先に述べたように、あるべき医師の姿は日々の診療において医療の質と安全性の向上をめざし努力する good clinician であり、また、physician-scientist、clinical-educator のマインドを持つ professional な医師であり、高度先進医療の推進と地域医療への貢献との連携の中で、患者さんに納得してもらい、満足してもらえる安全な医療を提供することです。これは患者さんやそのご家族のみならず、私達医療人も自分自身が納得のいく、満足できる医療をしなければいけません。

これらを実行するために、今、歯科大学に大切なことは何でしょうか？

(1) 情報の共有と危機感の共有

学園が直面している課題について全教職員に情報を公開し、全員で討論し、意見を出し合うことです。

見を出し合うことです。

(2) チャンスをつかむ
本学は西日本で唯一の私立歯科大学であり、それを強みとして教職員が優秀な学生達の入学に努力し、育てることも大切です。優秀な学生達に更なる勉強の楽しさを教え、次の世代を担う意欲ある優れた新時代の医療人を鍛え上げ、人生の知的冒険の途に導くことは私達先輩医療人のすべてが担うべき責任であり、義務であります。

(3) チャレンジ続ける精神
10年後、20年後、50年後、100年後に向けて医科歯科教育の一元化を図り、口腔医科大学への夢を持ち続け、福岡歯科大学から世界へ向けて発信するというチャレンジ精神を常に持ち続けたいと思えます。昨今の厳しい社会環境、変化と競争の厳しい時代の中で生き抜くためには、学園のあるべき姿を明確にする

とともに、大学、短大、病院等の各施設がそれぞれの将来への確たる展望を持って、日々邁進することができ組織づくりに必要です。

いろいろな課題は山積みですが、時代が変わるとき、組織が変わるとき、一番大切なことは教職員全員の意識改革です。世界と勝負ができる大学になるという教職員全員の意欲と競争心が不可欠です。全員がこれらの課題を共有し、同じ方向を向いて邁進していくことが必要です。

皆様方の強く温かいご協力をお願いいたします。



【水田祥代氏の略歴】

昭和17年、大分県生まれ。昭和41年、九州大学医学部卒業。大学院生26歳のとき、イギリスへ留学。帰国後は大学院に戻り、小児外科学に。昭和49年、医学博士号を取得。九州大学医学部講師、福岡市立こども病院、感染症センター小児外科部長、九州大学医学部小児外科学講座教授を経て、平成16年、九州大学病院院長(女性として初の国立大学病院院長に就任。小児医療センターや救命救急センターなどの設立にも尽力。平成20年、女性初の九州大学理事、副学長に就任。財務・国際関係を担当し、また、同大学における男女共同参画も推進した。平成22年、学校法人福岡学園(旧福岡歯科大学)理事評議員に就任。平成23年、同法人常務理事就任。

故 田中健藏先生のご遺徳を偲び合同葬



田中健藏氏の略歴

昭和21年九州大学医学部を卒業。昭和56年11月からおよそ5年間九州大学長を務め、平成3年に本学園理事に、翌年には理事長に就任。理事長として22年の長きにわたり、福岡学園の発展はもとより、日本の歯科医療の向上のため尽力された。また、文部省中央教育審議会委員、日本私立大学協会常務理事、九州交響楽団理事長、福岡市総合図書館長などを歴任し、日本の教育、文化の振興に大きな足跡を残した。こうした多大な貢献に対して、平成8年には勲一等瑞宝章を受章された。

学校法人福岡学園前理事長 田中健藏先生は入院加療中のところ、去る2月11日午後8時38分、肺炎のため逝去されました。通夜は2月14日、積善社福岡斎場(福岡市中央区)にて営まれ、翌日15日、田中先生は霊柩車で福岡歯科大学や歯科歯科総合病院、福岡医療短期大学、介護老人保健施設サンシャインシティ、介護老人福祉施設サンシャインプラザを回り、22年の長きにわたり理事長として運営に専心された福岡学園に別れを告げられました。教職員や学生は校舎・施設前で、田中先生をお見送りしました。

また、田中先生を偲ぶ合同葬(田中家、本学園、九州大学病理学教室、九州大学胸部疾患研究施設)が、22日正午より、同斎場においてしめやかに営まれました。

天台宗総本山比叡山延暦寺の山田能裕大僧正を大導師として執り行われた合同葬では、水田祥代葬儀委員長の追悼の

辞のほか、麻生太郎 副総理財務大臣 金融担当大臣、小川洋 福岡県知事、大久保満男 日本歯科医師会会長(代読村上恵一専務理事)、大沼淳 日本私立大学協会会長(代読佐藤東洋士副会長)、川添堯彬 日本私立歯科大学協会会長、久保千春 九州大学総長、鎌田迪貞 九州電力相談役、田村靖邦 宮崎宮司、石川博之 福岡歯科大学学長、住吉昭信 元宮崎大学学長 宮崎大学名誉教授(九州大学病理学教室)、中西洋一 九州大学胸部疾患研究施設教授、宮口 厳 福岡歯科大学同窓会会長より弔辞が述べられました。その後、病状報告、病理剖検報告、弔電奉読、喪主田中健一郎氏による遺族代表挨拶、大導師挨拶、誦経と肅々と執り行われました。会場には、政府関係者や国公立大学関係者、外部団体関係者に教職員、同窓生などを含めておよそ800名の方が参列し、故人を偲びました。



先生を見送る教員・学生



合同葬の様子

新役職教員等紹介

2月17日に開催された理事会において、大学運営の中核を担う役職教員等が次のとおり決定しました。任期は、平成27年4月1日から2年間です。池邊病院長は学園理事・評議員にも就任されました。

- 病 院 長 池邊 哲郎(口腔外科学分野 教授)
- 学 生 部 長 岡部 幸司(細胞生理学分野 教授)
- 情 報 図 書 館 長 佐藤 博信(冠橋義歯学分野 教授)
- 口 腔 ・ 歯 学 部 門 長 坂上 竜資(歯周病学分野 教授)
- 全身管理・医歯学部門長 湯浅 賢治(画像診断学分野 教授)



- 社会医歯学部門長 埴岡 隆(口腔健康科学分野 教授)
- 基礎医歯学部門長 山崎 純(分子機能制御学分野 教授)
- 学 生 部 次 長 稲井 哲一郎(機能構造学分野 教授)
- 学生研修センター主事 廣藤 卓雄(総合歯科学分野 教授)
- 口腔医療センター長 古賀 千尋

新評議員紹介

4月21日に開催された理事会において高嶺明彦氏が評議員に選任されました。任期は平成29年8月2日までです。

高嶺 明彦
福岡歯科大学
同窓会副会長



新任・昇任教員紹介

分子機能制御学分野

昇任 教授 大久保 つや子



痛みの機序やイオンチャンネルをテーマに研究を続けて来ました。また、'わかりやすい薬理学'を目指して教育に取り組んでいます。これまでの経験を生かして、より一層、大学に貢献、寄与できるよう邁進したいと考えています。

〔略歴〕九州大学理学部卒業。大阪大学にて歯学博士取得。本学薬理学(現 分子機能制御学分野)講座助手、ネバダ州立大学医学部留学、本学講師、准教授を経て、平成27年3月1日定員外教授に昇任。

耳鼻咽喉科学分野

昇任 准教授 山野 貴史



高齢社会の日本では、嚥下障害の患者さんは増加していき、その診断や治療は重要になっていくものと考えます。自分の専門領域である嚥下・音声を中心に、医科歯科連携を中心とした当院ならではの診断、治療を構築して行きたいと思っております。

〔略歴〕福岡大学医学部卒業。福岡大学医学部耳鼻咽喉科入局、福岡大学病院、九州がんセンター、福岡大学筑紫病院勤務、平成26年4月より本学耳鼻咽喉科分野講師を経て、平成27年2月1日准教授に昇任。博士(医学)。

歯周病学分野

新任 准教授 吉永 泰周



1本でも多くの歯の保存を目標に、専門分野である歯周治療の経験をいかして臨床を行うとともに、臨床経験の研究へのフィードバックや学生教育にも力を入れていく所存です。よろしくお願ひします。

〔略歴〕長崎大学歯学部卒業。同大学大学院歯歯薬学総合研究科修了。同大学病院歯周病治療室医員、同大学大学院歯歯薬学総合研究科歯周病学分野助教、同大学病院歯周病治療室講師を経て、平成27年4月1日本学准教授に就任。博士(医学)。

小児歯科学分野

昇任 准教授 岡 暁子



平成21年本学に着任してから6年間、大変充実した時間を過ごしてきました。これまでの経験を活かし、今後教育・臨床・研究の3つの柱に情熱を持って取り組んでまいります。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

〔略歴〕九州大学歯学部卒業。同大学大学院歯歯研究科修了。同大学歯学部附属病院研修医、南カリフォルニア大学歯学部Postdoctoral Research Associate、九州大学病院医員、日本大学歯学部専修研究員、福岡歯科大学医員、助教、講師を経て、平成27年4月1日准教授に昇任。博士(歯学)。

分子機能制御学分野

昇任 講師 藤兼 亮輔



現在、DNA損傷に誘導されるアポトーシスの制御機構の解明を目指して研究を行っております。これまでの経験を生かし、本学の教育・研究、及び口腔医学の推進に貢献できるよう一層努力してまいります。

〔略歴〕大阪大学大学院理学研究科博士後期課程修了。九州大学農学研究科博士研究員、Canonヨーロッパ財団フェロー、ナリ第11大学、アンリポワソナル大学ポスドク、本学分子機能制御学分野助教を経て、平成27年2月1日講師に昇任。博士(理学)。

整形外科学分野

昇任 講師 加島 伸浩



臨床では、主に外傷を扱う病院で診断・治療に従事してきました。学生のスポーツ外傷などにも取り組んで行きたいと思っております。研究は、バイオメカニクス関連を進めていきたいと考えております。

〔略歴〕福岡大学医学部卒業。同大学大学院医学研究科博士課程修了。福岡歯科大学総合医学講座整形外科学分野助教を経て、平成27年4月1日、講師に昇任。博士(医学)。

生化学分野

昇任 講師 林 道夫



教育では生化学の代謝を担当しています。また、研究ではDNA修復をテーマに仕事を進めています。これまでの経験を生かし、教育、研究に尽力していきたいと思っております。

〔略歴〕広島大学工学部卒業。同大学大学院工学研究科工業化学専攻博士課程修了。日本シエリング株式会社社社員、東京大学研究員、福岡歯科大学生化学分野助教を経て、平成27年4月1日講師に昇任。

口腔健康科学分野

昇任 准教授 谷口 奈央



このたび総合歯科学分野から口腔健康科学分野に移りました。これまで培った臨床経験を今後の教育と研究に活かしてまいります。また、さらにプロフェッショナルな口腔管理によって口腔の健康増進とともに全身の健康にも尽力していく所存です。

〔略歴〕九州大学歯学部卒業。同大学大学院歯歯研究科臨床系専攻博士課程修了。日本学術振興会特別研究員、奥羽大学歯学部助手、福岡歯科大学助教、講師を経て平成27年5月1日准教授に昇任。博士(歯学)。

福岡医療短期大学 保健福祉学科

新任 講師 中園 栄里



栄養学の視点から高齢期の骨粗鬆症予防をテーマに教育・研究に携わって参りました。これまでの経験を活かし、保健福祉学科の教育に貢献できるよう努力してまいります。ご指導、ご鞭撻をよろしくお願ひいたします。

〔略歴〕中村学園大学家政学部食物栄養学卒業。同大学院栄養科学研究科修了。同大学栄養科学部助手を経て、平成27年4月1日福岡医療短期大学保健福祉学科講師に就任。博士(栄養学)。

平成27年度福岡歯科大学客員教員・臨床教員紹介

福岡歯科大学客員教授・准教授

●客員教授

- 高橋 康一 福岡新水巻病院泌尿器科・部長
- 井口 八郎 福岡歯科大学・客員教授
- TAKAHASHI MASAYUKI 東京工業大学生命理工学部・特任教授
- 大慈弥 裕之 福岡大学医学部・教授
- 内藤 正俊 福岡大学・副学長
- 久保 真一 福岡大学医学部・教授
- 中山 宏明 九州大学・名誉教授
- 白日 高歩 医療法人福西会・理事長
- 西岡 三馨 福岡女学院看護大学・元学長
- 関口 睦夫 福岡歯科大学・客員教授
- 林 健志 九州大学・名誉教授

福岡歯科大学臨床教授・准教授

●臨床教授

- 田畑 修 田畑歯科医院・院長
- 荒川 周幸 あらかわ歯科・矯正歯科クリニック・院長
- 土屋 嘉彦 土屋デンタルクリニック
- 石井 香 いしかおり小児歯科・院長
- 中 四良 中富科医院・院長
- 上田 秀朗 うえた歯科医院・院長
- 中村 博敬 熊本大学医学部医学科・臨床教授
- 川崎 和久 睡眠科学研究所江崎歯科内科医院・院長
- 大分県済生会日田病院 歯科口腔外科部長
- 川崎 和久 川崎歯科医院・院長
- はしもと小児歯科医院・院長
- 久方 陽一 くば小児歯科医院・院長
- 松永 昌昌 松永歯科クリニック審美・インプラントセンター・院長
- 小柳 進祐 小柳歯科医院・院長
- 森 智昌 森歯科小児歯科医院・院長
- 小柳 進祐 小柳歯科医院・院長
- 山田 潤一 JR久留米駅前タワー・歯科・院長
- 下田 恒久 中央歯科・口腔科クリニック・院長
- 米津 康一 嶋田歯科医院・副院長
- 住吉 周平 スミヨン歯科口腔外科こども歯科・院長

- 福田 仁一 新百合ヶ丘総合病院 歯科口腔外科研究所・所長
- 宮本 新吾 福岡大学医学部・教授
- 山内 三男 ノースカロライナ大学歯学部・教授
- 客員准教授
- 奥田 貫介 奥田・二子石法律事務所・弁護士

●臨床准教授

- 大村 祐進 おおむら歯科医院・院長
- 大森 桂二 大森歯科医院・院長
- 榎 恭範 さかきデンタルオフィス・院長
- 白石 和仁 白石歯科医院・院長
- 原口 尚大 井尻駅前歯科・院長
- 春名 千英子 福岡歯科衛生専門学校非常勤講師
- 吉永 修 吉永歯科医院・理事長

新事務局長紹介

井手 孝行氏が事務局長に就任

厚谷彰雄氏の後任として、5月から井手孝行氏が事務局長に就任しました。

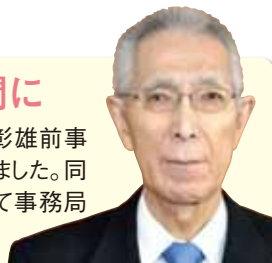
これまで40年近くを国立大学で過ごしてきた私にとって、私立大学は全く経験のない世界ですが、綺麗に整備されたキャンパス、そして礼儀正しい学生さん達を見ていると、本学の教育等に対する前向きな姿勢を感じます。私の父も以前本学に在職していましたので、そういった意味でも本学には親近感を感じております。大先輩である厚谷局長の後を受け、教職員の皆さんと共に微力を尽くしてまいりますので、どうぞよろしくお願い致します。

〔略歴〕昭和52年、福岡大学法学部卒。文部省大臣官房会計課総括予算班第二係長、九州工業大学会計課長、文化庁文化財保護部記念物課課長補佐、文部科学省大臣官房会計課国立学校特別会計第二予算班主査等を歴任。熊本大学経理部長、同大学財務部長、東北大学事業資金企画総主幹、九州大学財務部長、琉球大学理事・副学長、群馬大学理事・副学長、事務局長を経て、平成27年5月1日に本学事務局長に就任。



厚谷前事務局長が顧問に

4月21日の理事会において、厚谷彰雄前事務局長が5月1日付で顧問に選任されました。同氏は、平成18年1月から9年にわたって事務局長を務められました。



福岡医療短期大学 歯科衛生学科長

井上 勇介 氏を選任

福岡医療短期大学 歯科衛生学科長に井上勇介教授が就任されました。任期は平成27年4月1日から平成29年3月31日までとなります。



平成27年度 学友会 総務委員長



第5学年
河村 修平 さん

任期満了に伴う福岡歯科大学学友会総務委員長の改選が1月16日に行われ、第5学年河村修平さんが総投票数455票中436票(95.8%)の信任票を獲得し、4月1日付けで平成27年度学友会総務委員長に就任しました。

福岡医療短期大学 保健福祉学科父兄後援会長



保健福祉学科
父兄後援会長
松木 直美 氏

4月7日、福岡医療短期大学入学式に引き続いて父兄後援会総会が開催され、保健福祉学科父兄後援会長に松木直美氏が新たに選任されました。歯科衛生学科父兄後援会につきましては、前年度に引き続き厩谷真氏が会長を務められます。

福岡歯科大学 父兄後援会長



福岡歯科大学卒業
(4期生)
中村 重雄 氏

3月5日に開催された福岡歯科大学父兄後援会理事会・評議員会合同会議において、同会長の改選が行われ、第21代会長として中村重雄氏(4期生)が選任されました。

おつかれさまでした。

定年を迎えて

口腔・顎顔面外科学講座
口腔腫瘍学分野

教授 大関 悟

平成11年1月1日付けで福岡歯科大学口腔外科学第1講座(現在は口腔・顎顔面外科学講座口腔腫瘍学分野)教授を拝命し、爾来16年と3か月間、福岡歯科大学で教育、診療、研究に従事して参りました。この間多くの学生の皆さんに囲まれて、若々しい気持ちで、楽しく過ごした大学生活でした。ありがとうございました。



口腔保健学講座
口腔健康科学分野

教授 筒井 昭仁

1974年、九州歯科大学を卒業し、14年の新潟大学経験を経て1988年に福岡歯科大学に赴任しました。主にフッ化物とヘルスプロモーションの2つをテーマに、研究成果を現場に活かす仕事に取り組んできました。地域では多くの卒業生の方々にお世話になりました。有り難うございました。大学も新たな変革の時期を迎えようとしています。大学のますますの発展を心より祈念いたします。また、なによりも教職員のみなさまの心とお身体の健康をお祈りします。



施設課長

梅宮 兵衛

九州大学をはじめ国立大学の施設部に勤務し、平成24年4月より福岡歯科大学施設課長として勤めました。学園キャンパスに一步踏み入れた感想は良く手入れの行き届いたキャンパスであるとの思いを強く致しました。教職員等の努力の結果だろうと思います。福岡学園の今後益々の発展を祈念いたします。



祈願祭

サンシャインセンター 安全祈願祭

1 月21日、サンシャインセンター建設予定地（福岡市早良区）にて、安全祈願祭が行われました。サンシャインセンターは、地域の保健・医療・福祉への貢献をさらに進めるため、社会福祉法人学而会がサンシャインプラザに続き新たに建設する特別養護老人ホームです。当日は、天候にも恵まれ、出席者一同はこれからの工事の安全とセンター完成を祈願しました。今年12月に竣工、来年2月に開所予定です。



国際交流

慶熙大^{キョヒ}学校歯科大学の 学生訪問団来学

2 月9日から2月12日までの4日間、韓国の慶熙大^{キョヒ}学校歯科大学学生6名と引率の教員1名が来学されました。

慶熙大^{キョヒ}学校歯科大学と本学との学生相互交流は2007年に始まり、今年で6回目となります。6名の学生は、本学滞在中、大学、病院、口腔医療センターの見学や、各専門分野に関する研修等、数多くの体験を通して本学の教員や学生との交流を深めました。

慶熙大^{キョヒ}学校歯科大学は、ソウルの私立大学の中でも最も長い歴史を誇り、韓国の大学の国際化をリードする名門大学です。相互交流は、お互いの学生が自国以外の歯学や生活について直接意見交換ができる、とても貴重な学びの機会となっています。



国家試験結果

第108回 歯科医師国家試験

3 月18日、厚生労働省から第108回歯科医師国家試験の結果が発表されました。全国の受験者は3138名で、合格者は2003名、合格率は63.8%でした。福岡歯科大学からは新卒者82名及び既卒者53名、計135名が受験し、77名が合格しました。合格率は新卒で64.6%、既卒と合わせ57%となりました。

第24回 歯科衛生士国家試験

3 月27日、厚生労働省から第24回歯科衛生士国家試験の結果が発表されました。福岡医療短期大学・歯科衛生学科からは卒業生89名（既卒者2名）が受験し、合格者は86名、合格率は96.6%でした。なお全国の合格率は95.9%でした。

水田祥代理事長、 第23回日本歯科医学会 学術大会（総会）会頭に就任

田 中健蔵前理事長の逝去に伴い、本学園の水田祥代理事長が平成28年10月21〜23日の3日間にわたり開催される第23回日本歯科医学会学術大会（総会）会頭に3月25日付で委嘱されました。総会史上初となる福岡での開催に向けて準備が進められています。

シンポジウム

「口腔医学シンポジウム」および「連携大学学長・学部長会議」開催

1 月10日、神奈川歯科大学第一小講堂(神奈川県横須賀市)において、戦略的連携事業「口腔医学シンポジウム」が開催されました。「歯周医学・歯周病と全身疾患・病診連携による生活習慣病対策」というテーマで開催されたこのシンポジウムは、全国から歯学・医学関係者および一般聴講者約180名が参加し、口腔医学への理解を深めました。

また、シンポジウムに先駆けて「第10回連携大学学長・学部長会議および戦略的連携事業実施担当者会議(合同会議)」を同大学本部棟4階会議室にて開催し、次年度の事業計画等について協議を行いました。



設置

看護大学設置
準備室を設置

福岡 岡学園では、看護大学(看護学部)の開学(平成29年度予定)を目指し、看護大学設置準備室を設置しました。社会的ニーズが高く、受験生の志望意欲も高いと思われる看護分野の新大学開設のための準備を鋭意進めています。



窪田室長(前例中央)と看護大学準備室スタッフ

採択

「学術研究振興資金」に
本学研究課題採択

日 本私立学校振興・共済事業団による平成27年度学術研究振興資金の選考結果が発表され、本学の田中芳彦教授(感染生物学)の研究課題「口腔感染症における多臓器間免疫制御ネットワークの解明」が採択されました。本資金は、社会的要請の強い学術研究を助成し、もって特色ある学術研究の振興に寄与するために私立の大学等に交付されるものです。採択数は31件で、各大学からの応募は1課題のみに限定されており、難関の研究助成です。全身の健康保持における口腔感染症の重要性が評価され、今回本学で初めての採択となりました。



講演会

教育支援・教学—R室主催
「FD講演会」

1 月28日、本館5階504講義室において、教育支援・教学—R室主催のFD講演会が行われました。これは本学で取り組んでいる「大学教育再生加速プログラム テーマⅡ・学修成果の可視化」の事業の一環として、教育指導充実を目的に開催されたものです。講演会では、立命館大学教育開発推進機構 沖裕貴教授をお招きして「授業科目の設計と成績評価—シラバス、ルーブリックで学生の学習を導く—」というテーマでお話頂き、聴講者は真剣に耳を傾けていました。

立命館大学
教育開発推進機構
沖裕貴教授



診療室設置

「医科歯科総合病院3階に
第2総合診療室設置

平成26年度私立大学等教育研究活性化設備整備費補助金の交付を受け、病院3階に、12台の歯科治療ユニットを完備した第2総合診療室が設置されました。この診療室は主に臨床実習における学生の相互実習や患者実習に使用される予定です。无影灯にはカメラが設置され、治療の様子がモニタリングできるほか、電子示読システムも導入され、臨床教育の質の向上につながる事が期待されます。



卒業式
修了式

第37回 福岡歯科大学 口腔歯学部卒業式

第27回 福岡歯科大学 大学院修了式



福 岡歯科大学の第37回口腔歯学部卒業式並びに第27回大学院修了式が、3月14日午前10時から本館講堂で執り行われ、石川博之大学長から口腔歯学部卒業生82名に卒業証書・学位記が、大学院修了生12名には博士(歯学)の学位記が手渡されました。

学業成績最優秀者

〈理事長賞〉中嶋 宏樹
〈学長賞〉大島 優、赤木 裕美

学友会功労者

岡 信孝、前川 裕亮、大関 博通、
角岡 宏亮、北園 優歩



答辞を述べる
卒業生代表
岡 信孝さん



学位論文紹介

学位記番号	氏名	専攻科目	学位論文
甲 第258号	川越 慈	矯正歯科学	Matrix metalloproteinase-2 degrades Fibrillin-1 and Fibrillin-2 of oxytalan fibers in the human eye and periodontal ligaments in vitro
甲 第259号	坂井 真実子	矯正歯科学	骨格性下顎前突患者の側貌パターンの違いが術後の軟組織側貌の予測に与える影響
甲 第260号	柳 束	口腔インプラント学	Photothermal stress triggered by near infrared-irradiated carbon nanotubes promotes bone deposition in rat calvarial defects
甲 第261号	佐々木 三奈	口腔外科学	Reactive oxygen species promotes cellular senescence in normal human epidermal keratinocytes through epigenetic regulation of p16 ^{INK4a}
甲 第262号	高田 俊輔	矯正歯科学	Expression of toll-like receptor 4 in glomerular endothelial cells under diabetic conditions
甲 第263号	山口 雄一郎	口腔インプラント学	Mesenchymal stem cell spheroids exhibit enhanced in-vitro and in-vivo osteoregenerative potential
甲 第264号	長岡 良礼	口腔外科学	Mevalonates restore zoledronic acid-induced osteoclastogenesis inhibition
甲 第265号	伊波 幸作	総合歯科学	Effect of mouth cleaning with hinokitiol-containing gel on oral malodor:a randomized,open-label pilot study
甲 第266号	永沼 香織	口腔外科学	Epigenetic alterations of the keratin 13 gene in oral squamous cell carcinoma
甲 第267号	宮崎 綾子	矯正歯科学	Integrin $\alpha6\beta4$ and TRPV1 channel coordinately regulate directional keratinocyte migration
甲 第268号	水上 正彦	歯科保存学	p38 Mitogen-activated protein kinase and c-Jun NH ₂ -terminal protein kinase regulate the accumulation of a tight junction protein,ZO-1,in cell-cell contacts in HaCaT cells
甲 第269号	立岡 迪子	成育小児歯科学	Immunohistochemical expression of Fibrillin-1 and Fibrillin-2 during tooth development

【学位授与日:平成27年3月14日】

甲 第270号	廣松 亮	歯周病学	NF- κ B-regulated transcriptional control of CLCA in a differentiated mouse keratinocyte line
---------	------	------	--

【学位授与日:平成27年3月31日】

乙 第93号	西原 哲世	総合歯科学	Effect of Lactobacillus salivarius-containing tablets on caries risk factors: a randomized open-label clinical trial
--------	-------	-------	--

【学位授与日:平成27年3月31日】

卒業式
修了式

第17回 福岡医療短期大学

卒業式

第16回 福岡医療短期大学

専攻科修了式

福岡医療短期大学の第17回卒業式が3月11日午前10時から福岡歯科大学本館講堂で執り行われ、歯科衛生学科87名、保健福祉学科32名の卒業生に対し栢豪洋短大専攻科口腔保健衛生学専攻の14名には、修了証書が授与されたほか、独立行政法人大学評価・学位授与機構の定める学修成果「試験の審査に合格すると得られる「学士（口腔保健学）」の学位記も併せて伝達され、卒業生たちは新たな人生の一步を踏み出しました。



学業成績優秀者

■ 歯科衛生学科

〈理事長賞〉 増岡 睦恵

〈学長賞〉 坂井 亜紀子、鎌田 紗央莉

■ 保健福祉学科

〈理事長賞〉 前田 富美代

〈学長賞〉 原 栄子

専攻科学位取得者

梶谷 京子	新開 愛子	亀井 寛子
田沖 奈江	荷蘭 祐香里	徳久 佐和子
菊竹 由華	原田 絵里奈	上瀧 由紀
彦面 沙也加	貞方 祐佳里	山田 実和
首藤 沙耶香	湯川 成美	

答辞を述べる
歯科衛生学科
卒業生代表
増岡 睦恵さん



答辞を述べる
保健福祉学科
卒業生代表
前田 富美代さん



共用試験

共用試験 (CBT・OSCE) 実施

臨 床実習前の第4学年85名は平成26年度共用試験として2月24日にCBT「知識・思考力(問題解決能力)」を問う多肢選択式試験でコンピュータを使った試験」並びに3月1日にOSCE「技能・態度を客観的に評価する臨床能力試験」を受験しました。この共用試験は、診療参加型臨床実習に参加する学生に必要なとされる基本的知識と態度を評価し、診療チームの一員として患者さんの診療に参加する資格を問うものといえます。臨床の現場に出る直前の学生に対して、全国すべての歯学部で実施されるものです。難関を突破した学生は、水準1と呼ばれる基本的な医療行為の習得に向けて、患者さんから多くのことを学んでいきます。

講演会

ヤンゴン歯科大学元学長 Paing Soe 教授講演会

2 月19日、本館8階第3会議室において、ヤンゴン歯科大学元学長Paing Soe教授(ミャンマー歯科審議会会長)による講演会が行われました。「Dentistry in Myanmar Today, Tomorrow and our perspective on ASEAN Mutual Recognition Agreement(ミャンマーにおける現在と今後の歯科学、そしてASEAN相互承認協定の展望)」というテーマでお話し頂き、会場いっぱい集まった聴講者は真剣に耳を傾けていました。



Paing Soe教授



講演風景

臨床研修

歯科医師臨床研修がスタート

4 月1日、平成27年度歯科医師臨床研修開始式が執り行われ、48人が辞令を受け研修歯科医として臨床研修を開始しました。本院の研修プログラムは、単独型・複合型があり、医科歯科総合病院と口腔医療センターのみ、あるいは医科歯科総合病院と協力型臨床研修施設に登録されている歯科診療所において来年3月まで行われます。



登院式

福岡医療短期大学歯科衛生学科登院式

4 月9日、福岡歯科大学本館講堂にて平成27年度福岡医療短期大学歯科衛生学科登院式が執り行われました。同学科新3年生90名は、来賓、法人役員、教員、在学生、父兄等が見守る中、名前が呼ばれると緊張した面持ちで一人ひとり壇上上がり、栞短大学長から戴帽を受けました。いよいよ医科歯科総合病院での臨床実習が開始され、歯科衛生士に向けての実践的な第一歩が始まります。



New Sophian「水の如し」

タブレットの中の漱石

最近、電子書籍で本を読むことが多くなった。文庫本や新書本をいつも肌身離さず携行することを常としていた者にとって、タブレットで読書することに忸怩たる思いがある。しかし、一方で、タブレット一つで十数冊の本を携帯できる楽しさもまた事実である。ところで電子書籍に親しむようになってなぜか夏目漱石を読むことが多くなった。「草枕」、「こころ」、「それから」、「行人」と立て続けに読んだ。学生時代以来、久しぶりに読んであらためて驚いたのは、三角関係のもつれやそれにとまなう自殺など、男女の心理的葛藤を題材にした小説が多いということである。いわば暗くて憂鬱な内容である。なぜ漱石がずっと国民的作家なのだろうかと思わず考えさせられてしまう。一方、世の中には漱石派と鴉外派がいるようで、松本清張や開高健などどうるさ型の作家は漱石よりも森鴉外を評価している。漱石と鴉外の違いは何かというと、主人公の悩み方もしれない。鴉外の骨太で哲学的な悩みに対して、漱石のはうじうじと煮え切らない悩みである。しかしながら多くの日本人が漱石の煮え切らない悩みの方に共感しているのもまた事実である。電子書籍になっても漱石は漱石である。

福岡県西同窓会 学術講演会報告

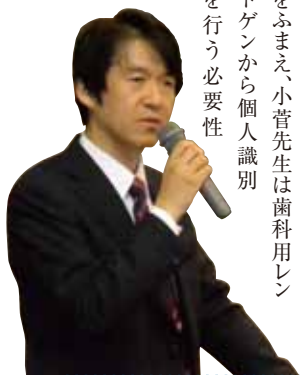
加藤 明彦 (7期生)

去 平成26年11月29日、福岡県歯科医師会館にて学術講演会が開催されました。

「歯科における情報の重要性とその効果（ITを活用した災害時の身元確認と今後の課題）」と題し、講師は東北大学副学長・大学院情報科学研究科教授の青木孝文先生と群馬県検視警察医・篠原歯科医院院長の小菅栄子先生にお願いしました。

青木先生は写真から3次元立体画像を復元する技術や生体認証・個人識別など超高精度画像認識技術の研究において世界の第一人者であります。小菅先生は神奈川歯科大学を卒業後放射線学教室に在籍、現在はお父様のあとを継いで篠原歯科医院の院長をされており、また同時に群馬県検視警察医として遺体の身元確認などに尽力されています。

1985年群馬県の御巣鷹山で日航機が墜落し520名が死亡した悲惨な事故の身元確認において、小菅先生のお父様が大変な努力をされたとお聞きしました。また、2011年3月11日に起こった東日本大震災の身元確認でも小菅先生をはじめ日本全国からボランティアで集まった多くの歯科医師の苦勞は記憶に新しいことと思います。このような経験をふまえ、小菅先生は歯科用レントゲンから個人識別を行う必要性



を痛感し、青木先生の門をたたき協力を仰いだそうです。お二人の技術と情熱のコラボレーションにより、歯科診療情報の標準化の構想が進んでいます。これは全国の歯科医院で患者の口腔内情報を記録しレポートコンピュータや電子カルテを通じて検索する機能を備え、災害時の身元確認などに威力を発揮するデータベースの構築を目指しているものです。この情報は治療内容は含まれず、あくまで口腔内情報の提供です。

今後、このような歯科医師が主導するITを使った社会貢献活動について重要性が増していることを認識させられたすばらしい講演でした。追記…この講演開催は全国歯科大学同窓会・交友会学術連絡会に参加された岩本憲明先生(2期)の御尽力がありましたのでお礼申し上げます。



卒業生 NOW

己の弱さを知り、今見据えるもの



柴口 塊 (36期生)

皆様こんにちは。福岡歯科大学第36期卒業の柴口塊と申します。私は平成26年3月に福岡歯科大学卒業後、東京医科歯科大学で臨床研修を修了。現在は東京医科歯科大学・摂食機能保存学分野の大学院へ進学したところです。普段は補綴科外来で診療を行う傍ら、歯科アレルギー外来も受け持ち、「二足の草鞋」で忙しくも多くの刺激を受ける毎日を送っています。一人のライフサイクルにおける「咬めること」の最終的な担い手となるべく、またアレルギー等で一般的な材料を適応出来ない方にも同質の医療とその後の人生を提供出来る人間となるべく、この道に進むことを決めました。

今思えば、東京医科歯科大学に来て得た最大の収穫は、ある種の挫折を味わった事かもしれません。一人一人が非常に高いモチベーションを持ち、身に付けて来たと思っていた自分の力がいかに矮小なものであるかを感じ知らされました。しかし、それに気付くことが出来たからこそどんな状況でも、どんな些細な事からでも常に何かを学び吸収しようという姿勢を持ち続けられる今の私がいることは確かです。7年前、遠い北海道から福岡に来た私を育ててくださった場所がまさしく福岡歯科大学でした。ここで私は歯学を追究することの面白さ・厳しさを学び、同級生の仲間や部活の先輩・後輩達と共に本気で笑い本気で泣き、あまりにも素敵な6年間で過ごさせて貰いました。決して忘れることの出来ない記憶と感謝の気持ちを背負って、私は今日も学生時代と変わらぬ全力投球で戦っています。昨日より今日、さっきより今、描く理想へ一歩でも近づいていられるように。



同窓生からの手紙

お礼とお願ひ

沖縄県同窓会会長 松島 一夫(8期生) 皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、昨年の12月14日に衆議院議員選挙がおこなわれました。2年前「比嘉なつみ」初当選の時の感動も記憶に新しい中での解散でした。

ご存知の事と思いますが、衆議院議員は4年の任期があります。しかし、解散権を内閣総理大臣が有するため衆議院は常在戦場であると言われていました。今回の解散は、まさに常在戦場を実感した感じがします。

選挙前の予想では自民圧勝との報道がありました。しかし、沖縄県においては普天間基地の辺野古への移設問題があり、「比嘉なつみ」にとっては猛烈な逆風のなかでの選挙でした。その中で沖縄県同窓会では、前回の選挙同様に県歯科医師会と協力を図り、有志を募り、朝のお手振り、パンフレットのポスティング、決起集会への動員等の協力をしました。結果は比例での復活当選となりましたが、衆議院議員2期目になりました。やはり、政治力や発言力を増すためにも期を重ねることが重要ではないでしょうか。

昨年の11月、福岡歯科大学同窓会本部のご協力のもと「衆議院議員比嘉なつみ君を支える会」に561名の先生方にご賛同いただきました。今後、先生方へ「比嘉なつみ後援会」より政治活動に対するご支持・ご支援の案内があります。その際には、是非ともご協力をお願いしたいと存じます。

今回も宮口会長、各県同窓会会長をはじめ同窓会の先生方には大変お世話になりました。心より感謝申し上げますと同時に、今後とも宜しくお願ひいたします。

一開業して30余年たった今

安里 博 (4期生 / 広栄歯科医院(沖縄県浦添市))

4 期生の安里博といいます。1982年、同級生の妻(旧姓松浦房江)と卒業後に結婚、翌83年にお互い開業医の元に1年勤めた後思い切つて開業しました。

当時はバブルの始まりの頃で、場所を選びさえすれば患者さんがついてきてくれるそんな時代だったと思います。それから30余年が過ぎ、妻と二人三脚で仕事をこなしながら、二人の息子を育てることができました。その甲斐あって、長男は無事に歯科医師(36期)となり、次男は医学部へと進むことができました。

もちろん、それなりの努力と苦労を重ねた結果ではありますが患者さんのご理解を始め、スタッフや友人知人の協力、支えがあつての今日なのです。

夫婦ふたりになった現在、今まで社会的なことを控えていた妻は同級生



と連絡を取り合つては会いに行つたり、メールでやり取りしています。私も同様、級友たちと「今度はいつ中洲で飲もうか?」と、なかなか合わない日取りの調整を楽しんでいます。

職場的には、さびれかけた小さな診療所ながら、早くからレーザーやCTを導入し、息子が戻つてきて古臭いと言われないように、また時代に遅れをとらないようにと研鑽を積み、環境作りにもそれなりに気を使っています。

その他、県内の向学心あふれる歯科医師たちとスタディーグループを立ち上げ、老いも若きも集える場(居酒屋が多い...)で毎月それぞれの得意分野のプレゼンや意見交換をしています。

個人的な意見ですが、これからの若い歯科医師は幅広くなつた歯科診療以外にも、交流分析などをベースとした患者さんへの対応、接客を含んだスタッフ教育、そして自らの精進も含め、様々な課題に対し、避けて通れない状況に直面しているはずです。歯科医師人生を歩む先にある、患者さんの笑顔のためにも月並みな言葉ですが、「明るく頑張つてほしい!」ものです。

一縦の関係は続く

葉山 揚介 (26期生 / はやま歯科医院(福岡県飯塚市))

み なさん、こんにちは。26期生の葉山揚介です。

学生時代は野球部に所属し、部活とお酒に没頭していたので、卒業後のビジョンなんかももちろんありませんでした。そんな私に福岡大学歯科口腔外科を勧めてくれたのが、飯塚の先輩でもあり、野球部の先輩でもある手島将先生(22期)でした。医局には、他大学出身の先生がほとんどで、直

属の先輩に直接指導されることは充実した研修期間となりました。部活動以外で見る手島先輩の患者さんへの接し方などは、私の診療スタイルの礎となっております。

その後、福岡市南区井尻にある山本順一先生(10期)の医院で2年間勤務し、29歳の時に地元である飯塚市で開業しました。当時は、開業は早いかな、と不安に思うところもありまし

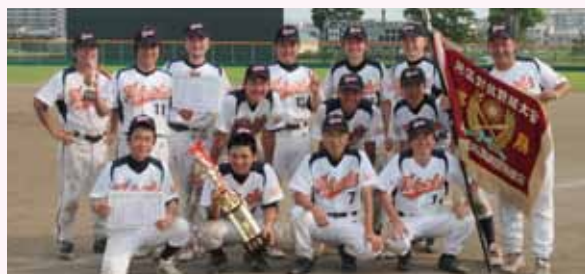


たが、その時も先輩から背中を押された事が自信になりました。

現在は、スタディーグループやセミナー等で、技術の幅を増やしたいと思ひ勉強しています。5年前に発足した26期生

を中心とした勉強会も、2ヶ月毎一度も途切れることなく現在まで続いており、勉強会後は夜が明けるまで学生時代のように浴びるほど飲んでいきます。なにより同期の仲間の頑張りが一番の刺激になります。また、歯科医師会野球部にも参加し、キャプテン後野先生(10期)を中心に、明るく強いチームをスローガンに、県下一の常勝軍団を作り上げているところです。

卒後11年目を迎えますが、勉強会や野球を続けたことで九州中のたくさん先輩と出会うことができました。今年の4月から先輩の安里先生(36期)を迎える立場になり、助け合える関係を築ける架け橋になれればと思ひます。



学生からのメッセージ

学ホの主



先日、CBTならびにO SCEが終わり、なんとか合格することができました。夏休みから始めて約7か月、平日も休日も年末は12月31日、年始は1月1日から毎日、朝から夜10時まで学生ホールの同じ席に座り準備をしてきました。定期テストと違い、4年分の膨大な範囲から出題されるので、できる限り苦手な分野を作らないように、分野ごとに勉強してきました。格好いい感じのことを書きましたが、自分一人では到底こんなことはできません。そこで、一人、また一人と勉強をしていくメンバーが増え、一緒に乗り越えていく仲間ができ、一緒にすることで刺激になり、あまり勉強の辛さを感じることはありませんでした。さらに、面識のある先生、先輩だけでなく、

増田 健 (福岡歯科大学 5年)

それまで面識の無かった先生、職員の方、先輩、後輩とどんどん知り合いが増え、アドバイスや励ましをいただき、頑張り続ける事ができました。そんな色々な方から毎日たくさん声かけを頂いていると、「いつもいるから学ホの主「みいだね」と言われたり、「家帰ってる?」「や「居ない」とどうしたのかと不安になる」などいつも気にしていたらいいんだと感じ、さらに頑張り続ける事ができました。CBTも終わり、気も緩みそうなのですが、ここがゴールではありません。気を引き締め、年々難化していく国家試験に余裕を持つて挑めるように対策をたて、でもときには息抜きに趣味のトロンボーンを吹きつつ、これからまた学生ホールの同じ席で「学ホの主」として勉強を続けたいと思います。



転機



4年前の今頃、私はまさかこの福岡歯科大学で充実した学生生活を送れているなんて思ってもみませんでした。

高校時代に受験に失敗して、両親に言われるがまま浪人の道をなんとなく選びました。もちろん私自身、将来何がしたくて何にしたいのかが全く分かっていなかったもので、結局また受験に失敗してしまいました。そのことで両親とも不仲になり、何もかもが嫌になつて長崎の実家を離れ1人京都に移り住みました。住む所や支払いなど、今までは両親がしてくれていたことを自分で全てやらなければいけないためとても大変で、その時になつて初めて親のありがたさを痛感しました。京都では美容室の受付をしていましたが、最初の頃は楽しく仕事をしていたのですが、1年目を過ぎて新しい子が入ってきた辺りからふ

山崎 美和子 (福岡歯科大学 2年)

と「私はこのままでもいいのか、この仕事ははずっと続けていけるのか、辞めたとしたら資格もなにも持たずに再就職できるのか」と思いはじめました。その頃には両親と仲直りをしていましたし、身内や友達のアドバイスが転機となつて歯科医師を目指そうと決断しました。しかしその時には受験日まで半年をきつていました。受験勉強の期間が充分にはなかつたにもかかわらず、福岡歯科大学に合格できた時は嬉しさもひとしおでした。

人生はいいことも悪いこともありまます。この先の大学生活で嫌なことも納得いかないこともたくさんあると思います。けれど私はいろんな人に助けられてここまで来ることができました。どんなことがあってもそのことを忘れずに立派な歯科医師となるためにこの福岡歯科大学で色々なことを学んでいきたいと思ひます。

保護者様からのメッセージ

クラブ活動も大切に

昨年、歯学体で私が学生時代に6年間所属しておりましたヨット部が優勝し、当時の部員と久しぶりに思い出話で懐かしい時を過ごすことができました。その事について少し書かせてもらいます。大学1年から6年間いつも歯学体参加ギリギリの人数4名で活動し、土・日祭日は暗くなるまで辛い練習を行っていました。「部員が増えれば辞めることができるのに」と思いつつ、6年生の登院実習中に歯学体まで参加することになつてしまいました。昨年ヨット部が歯学体で優勝したと聞き、あの当時一人でも欠けていたなら今の部はなかったのではないかと思うと、勝手ながら、一緒に参加した気分させて頂きました。現在の大学は、学生数も少なくなり、国家試験も大変という中で、廃部になった部もあると耳にしますが、是非、クラブ活動にも積極的に参加していただきたいと願っております。

今こそ出発点

新入生の皆さん、保護者の皆さん御入学おめでとうございます。入学式から1か月が過ぎ学園生活もだいぶ慣れてきた時期だと思ひます。

私も昭和54年に入学し36年が過ぎようとしています。娘も5年前に入学し親子二代で福岡歯科大学にお世話になつており、今は父兄後援会のお世話をさせて頂いております。昨今、国家試験の合格率の低下など、私たちの学生時代とは比べ物にならないくらいプレッシャーを感じて学園生活を送らないといけないようになっております。

京都大徳寺大仙院住職の尾関宗園さんの名言があります。「人生とは毎日が訓練である。わたくし自身の訓練の場である。失敗もできる訓練の場である。生きていく喜び訓練の場である。今この幸せを喜ぶこともなく

部活動でも頑張ることは社会に出て大きな自信になると思ひます。一親の気持ちとしては、国家試験も定員制ということなら、歯学体同様に他の大学に負けぬように頑張っていたらいいと思っております。

大学を卒業して約30年経ちます。久しぶりに会う友人の中には外見は致し方ありませんが、考え方が変わってしまった人もいます。福岡市内で開業していることもあり、先輩、同級生と頻繁にお付き合いさせていただくことで、いつも自分の至らなさに気が付かれますが、そのたびに軌道修正することができ感謝しております。是非、部活動を通じて縦、横のつながりを大事にして、充実した学生生活を送って頂きたいと思っております。



重松 久幹 様 (父兄後援会理事)

いつどこで幸せになれるかこの喜びをもとに全力で進めようわたくし自身の将来は今この瞬間ここにある

今ここで頑張らずにいつ頑張る」さらに人生は点の連続です。この瞬間を大切に生きなくて素晴らしい人生はありません。つまり、長い人生は、毎秒の毎時の毎日のこの瞬間、瞬間である点が連なったものであり、点の連続は線となります。この線となったものが人生です。今この瞬間、瞬間を真剣に生き、それを重ねてはじめて素晴らしい人生を歩むことが出来るということです。


6年間の学生生活を勉学も大事ですが、クラブ活動、遊び等有意義に過ごし、立派な歯科医師になつて下さい。



岡 浩司 様 (父兄後援会理事)


平成28年度 入学試験日程

福岡歯科大学

口腔歯学部							
区分	AO入試Ⅰ期	推薦・指定校推薦入試	一般入試A日程	センター試験利用入試Ⅰ期	一般入試B日程	センター試験利用入試Ⅱ期	AO入試Ⅱ期
募集人員	約13名	約15名	約47名	約5名	約12名	約2名	約2名
願書受付期間	H27.8.3(月)～9.3(木)	H27.11.2(月)～11.12(木)	H28.1.4(月)～1.28(木)		H28.2.1(月)～3.2(木)		H28.3.7(月)～3.17(木)
試験日	H27.9.6(日)	H27.11.14(土)	H28.2.2(火)		H28.3.4(金)		H28.3.22(火)
合格発表日	1次 H27.9.8(火) 2次 H27.10.6(火)	H27.11.16(月)	H28.2.4(木)午後5時		H28.3.8(火)午後5時		H28.3.23(水)
試験会場	福岡歯科大学試験場		福岡歯科大学試験場及び東京試験場		福岡歯科大学試験場		
問合せ先	〒814-0193 福岡市早良区田村2-15-1 福岡歯科大学学務課入試係 TEL.092-801-1885(直通) FAX.092-801-0427 ●ホームページURL http://www.fdcnet.ac.jp ●E-mail gakumu@college.fdcnet.ac.jp ●携帯電話及びスマートフォン用ホームページURL http://www.fdcnet.ac.jp/col/deviceselect.html						 ◀携帯電話からのアクセスはこちら!

福岡医療短期大学

歯科衛生学科								専攻科・口腔保健衛生学専攻			
区分	指定校推薦入試	公募推薦入試(Ⅰ)	公募推薦入試(Ⅱ)	一般入試A日程(社会人含む)	一般入試B日程(社会人含む)	一般入試C日程(社会人含む)	一般入試D日程(社会人含む)	AO入試(社会人含む)	一次募集	二次募集	三次募集
募集人員	約10名	約10名	約5名	約15名	約5名	若干名	若干名	約35名	約15名	約5名	若干名
願書受付期間	H27.10.1(木)～15(木)	H27.11.6(金)～19(木)	H27.12.1(火)～10(木)	H28.1.4(月)～28(木)	H28.1.29(金)～2.17(水)	H28.2.18(木)～3.2(水)	H28.3.7(月)～22(火)	詳細は入試係までお問い合わせください。	H27.12.1(火)～10(木)	H28.1.4(月)～28(木)	H28.3.7(月)～22(火)
試験日	H27.10.17(土)	H27.11.21(土)	H27.12.12(土)	H28.2.1(月)	H28.2.19(金)	H28.3.4(金)	H28.3.23(水)		H27.12.12(土)	H28.2.1(月)	H28.3.23(水)
合格発表日	H27.10.22(木)	H27.11.26(木)	H27.12.17(木)	H28.2.4(木)	H28.2.25(木)	H28.3.10(木)	H28.3.24(木)		H27.12.17(木)	H28.2.4(木)	H28.3.24(木)
試験会場	福岡医療短期大学						福岡医療短期大学				

保健福祉学科								
区分	指定校推薦入試	公募推薦入試(Ⅰ)・自己推薦入試(Ⅰ)	公募推薦入試(Ⅱ)・自己推薦入試(Ⅱ)	一般入試A日程(社会人含む)	一般入試B日程(社会人含む)	一般入試C日程(社会人含む)	一般入試D日程(社会人含む)	AO入試(社会人含む)
募集人員	約10名	約5名	約5名	約5名	若干名	若干名	若干名	約15名
願書受付期間	H27.10.1(木)～15(木)	H27.11.6(金)～19(木)	H27.12.1(火)～10(木)	H28.1.4(月)～28(木)	H28.1.29(金)～2.17(水)	H28.2.18(木)～3.2(水)	H28.3.7(月)～22(火)	詳細は入試係までお問い合わせください。
試験日	H27.10.17(土)	H27.11.21(土)	H27.12.12(土)	H28.2.1(月)	H28.2.19(金)	H28.3.4(金)	H28.3.23(水)	
合格発表日	H27.10.22(木)	H27.11.26(木)	H27.12.17(木)	H28.2.4(木)	H28.2.25(木)	H28.3.10(木)	H28.3.24(木)	
試験会場	福岡医療短期大学							
問合せ先	〒814-0193 福岡市早良区田村2-15-1 福岡医療短期大学入試係 TEL.092-801-0439(直通) FAX.092-801-4473 ●ホームページURL http://www.fdcnet.ac.jp/jcol/ ●E-mail gakumuj@college.fdcnet.ac.jp ●携帯電話用ホームページURL http://www.fdcnet.ac.jp/jcolhp						 ◀携帯電話からのアクセスはこちら!	

キャンパス歳時記

今年も学園の桜が鮮やかに咲き誇り、青空に映える桜色が訪れた方々の目を楽しませてくれました。



編集後記

水田理事長の就任挨拶で、しっかりディスカッションし、その結論には一致団結して取り組みましようとなりました。大学基準協会の広報誌巻頭言に、自由と自治にこそ大学ガバナンスの基礎があるとありました。われわれ教職員は自分の頭で考え、大学とは如何にあるべきかという議論に参加できなければならないということでしょう。熱い議論を戦わせて、その熱さもお届けできる誌面作りができればと思っています。(NT)

オープンキャンパス開催のお知らせ

福岡歯科大学 同窓生を対象としたオープンキャンパスを5月31日(日)に開催

同窓生を対象としたオープンキャンパスを下記の通り開催いたします。当日は本学教員・在学生との昼食会も企画しております。同窓生の皆さま、ふるってご参加ください。

- 日時 5月31日(日) 10:00～13:00
- 場所 福岡歯科大学 集合場所 本館9階901教室
- 内容 ●施設見学 ●模擬実習 ●本学教員および在学生との昼食会 ●大学概要説明 ●入学試験説明 など
- お問合せ 福岡歯科大学 学務課 入試係 TEL 092-801-1885(直通) E-mail gakumu@college.fdcnet.ac.jp

福岡歯科大学・福岡医療短期大学 平成27年度一般向けオープンキャンパス開催

本学への入学希望者をはじめ、そのご家族や高校・予備校の先生方を対象としたオープンキャンパスを右記の日程で開催いたします。お気軽にご参加ください。

開催校	実施日
福岡歯科大学	7月26日(日)・8月1日(土)
福岡医療短期大学	5月17日(日)／6月6日(土)・14日(日) 7月11日(土)・24日(金) 8月1日(土)・7日(金)・21日(金) 9月12日(土)・26日(土)／10月17日(土) 11月21日(土)／12月12日(土)